

橿原市一般廃棄物処理施設長期包括運営委託事業者選定委員会 議事録

会 議 名	第二回 樺原市一般廃棄物処理施設長期包括運営委託事業者選定委員会
開催日時	令和 5 年 5 月 19 日（金） 午後 1：30～2：35（約 1 時間 5 分）
開催場所	リサイクル館かしはら 3 階 研修室
出席委員	荒井委員、安田委員、荒川委員、堀内委員、高橋委員 以上 5 名
欠席委員	なし
事 務 局	環境部：広瀬副部長、新田副部長 環境政策課：吉川（光）課長、西村課長補佐、梶井係長、吉村主査、 中本主査 環境施設課：吉川（善）課長、寺西主査、藤田主査 資源循環課：瀬尾課長、西尾課長補佐
発注支援業者	一般財団法人 日本環境衛生センター：岩永、相良、大渡、長岡
次 第	1．開会 2．報告事項 （1）第一回委員会議事録の確認 （2）募集要項（第二部）について 3．審議事項 （1）対話の進め方について （2）評価・採点手順について 4．確認事項 次回の委員会について 5．閉会 6．現地視察 <u>（配布資料）</u> 次第 【資料 1】 募集要項（第二部）概要 【資料 2】 対話実施要領（案） 【資料 3】 評価・採点手順（案） <u>（別添資料）</u> 【別添資料 1－1， 1－2】 基本協定書（案） 【別添資料 2－1， 2－2】 事業契約書（案）
会議の公開/非公開	非公開
担当部署 （事務局）	環境部 環境政策課 〒634-8586 奈良県樺原市八木町 1-1-18 TEL：0744-47-3511 ／ FAX：0744-24-9716 E-mail：kankyoseisaku@city.kashihara.nara.jp

次第１：開会

事務局より、委員会開会を宣言。

会長より、委員会開会にあたっての挨拶。

次第２：報告事項

○ 第一回委員会議事録の確認

第一回委員会議事録案について、事務局より報告。

〔委員一同〕

事務局案について了承。

○ 募集要項（第二部）について

資料１を用いて事務局より報告。

<以下、本議題における質疑内容>

（委員）

別添資料２－１，２－２の別紙８を見ると、別紙９との間にさらに「別紙」と記載のあるページが含まれているが、これはどういった内容を意味しているのか。

（事務局）

別紙８の特定部品供給等に関する協定書内の別紙という位置づけです。

（委員）

別紙８の別紙が添付されているということか。

（事務局）

そのとおりです。誤解を生じないよう表現の修正を検討します。

（委員）

特定部品供給協定について、今回の２事業では、それぞれ特定部品として考えられるものはいくつくらいあるのか。

（事務局）

クリーンセンターかしはら、リサイクル館かしはらとも、事業契約書（案）の 55 ページに一覧が掲載されています。

（委員）

これらの部品が供給されないと他事業者は施設運営ができないため、設計・施工企業と供給契約を締結して他事業者が参加できるようにするとの認識で良いか。

(事務局)

そのとおりです。

(委員)

委託費の見直しは毎年確認を行い、一定の乖離が出れば変更し、なければしないということか。

(事務局)

そのとおりです。毎年確認を行い、1.5%以上の乖離が出れば委託費の見直しを行います。

[委員一同]

事務局案について了承。

次第３：審議事項

○ 対話の進め方について

資料２を用いて事務局より説明

(委員)

応募者側からも質問が行われるという認識でよいか。

(事務局)

対話の最後に、応募者側からも質問を受け付ける時間を設け、双方の疑問を解消できるような時間をとることを想定しています。

(委員)

事業破綻回避の考え方について、これをあえて質問・確認事項としている背景を教えてください。

(事務局)

社会情勢を踏まえ、SPC がどのように事業期間中に体制を継続できるようにしていく計画であるのかを確認したいとの趣旨で挙げています。

(委員)

発電についての市の考え方はいかがか。

(事務局)

CO₂削減への貢献や、市に帰属する売電収入をできるだけ得るために、効率的、経済的な発電を実現してほしいとの趣旨で質問・確認事項に挙げています。

(委員)

循環型社会形成におけるエネルギー回収効率を考えると、発電より熱として利用したほうが効率がよいと思われるが、そうした検討も踏まえた上で、今回は発電を中心としたシステムとしているのか。

(委員)

場内の温水利用と、近隣の温浴施設に対して熱供給を行っており、その余剰分を発電に利用している。

(委員)

株式を市が買い取れる仕組み、根質権の設定について、もう少し詳しく教えていただきたい。

(委員)

別添資料1－1の7ページに記載されている。事業主体(SPC)が破綻する可能性は極めて低いと考えるが、民間事業者に委ねるため、その破綻リスクについて配慮が必要である。SPC キャッシュフローの悪化や、代表企業・構成企業の事業が成り立たなくなる事態が生じ、SPC が事業破綻した際に、SPC の株式をどのように取り扱うのかということが記載されている。具体的には、事業破綻時に SPC の株式を樺原市が取得して、別の事業者に移譲して事業を継続できるようにするものである。

(委員)

他社が引き受けていただける裏付けはあるのか。

(委員)

それはその時になってみないとわからない。基本協定書の中でそのような仕組みが設けられている、というところである。

(委員)

適用された他事例をご存じか。

(委員)

契約期間を全うするのが基本であるため、承知していない。

(事務局)

このような仕組み自体、稀な内容と考えます。双方のリスク回避のための取組みと思うの

で、落札者と合意できるよう弁護士の助言等も受けながら、今後の対応を進めてまいります。

(委員)

質問・確認事項リストは、対話前に応募者に示すのか。また、対話内容はどのように記録する予定なのか。

(事務局)

質問・確認事項リストは対話前に応募者に示します。対話内容については事務局にて議事録を作成しますが、その内容に応募者のノウハウが含まれる可能性もあることから、公表はしません。

[委員一同]

事務局案について了承。

○ 評価・採点手順について

資料3を用いて事務局より説明

(委員) どういったやり方がベストかわからないが、ヒアリング前に各委員で仮採点したものを持ち寄って、ヒアリングする前に3段階以上乖離がある場合はある程度意識の調整を行うケースもある。今回はヒアリング時に各々仮採点したものを持ち寄ってくるということか。

(事務局) 今のところ委員間で事前調整を行わず、各々でヒアリング時に採点する形式を想定しています。

(委員) 第3回委員会で採点用のフォームをもらおうと思うので、ヒアリングまでの間に各委員が事前に仮採点をしておくとの認識でよいか。

(事務局) そのとおりです。具体的な採点の仕方や、ヒアリング当日の進め方については、第3回委員会で説明を行います。

[委員一同]

事務局案について了承。

次第4：確認事項

○ 次回委員会の開催日程について

事務局より説明。

- ・ 次回委員会の開催は 10 月下旬を予定している。
- ・ 具体的な開催日程は、今後委員と調整を行う。
- ・ 8 月 18 日に応募者との対話を予定しており、荒井会長、高橋委員にご同席いただく。
応募者数によっては、開催日を追加する可能性もある。

次第 5 : 閉会

会長の閉会宣言により、閉会。

※閉会后、リサイクル館かしはらの現地視察を実施。